[第6章]

シミュレータSM+を使ったI/Oポート実験プログラムのシミュレーション

6-1　システム・シミュレータSM+の起動

第5章の最後の操作で，システム・シミュレータSM+が起動しました．システム・シミュレータSM+が起動した画面を**図6-1**に示します．

SM+はシステム・シミュレータという名前のとおり，単にCPUコアによる命令実行だけをシミュレーションするものではなく，周辺機能を含めたシステム全体を仮想的に作ってシミュレートできるツールです．

ちょうど仮想的なマイコン・ボードを作って，そこにインサーキット・エミュレータや標準入出力ターミナル，ロジック・アナライザや波形ジェネレータなどをつないだような状態をイメージしてもらえばよいでしょう．

SM+が起動した時点で，すでにオブジェクト(ロード・モジュール)は読み込まれているので，**図6-1**のようにソース・コードが表示されます．

6-2　周辺I/Oをグラフィカルに表示する入出力パネルの作成

SM+は，周辺I/Oとの入出力部を，GUI化したパーツを配置することで，入出力のシミュレーションを

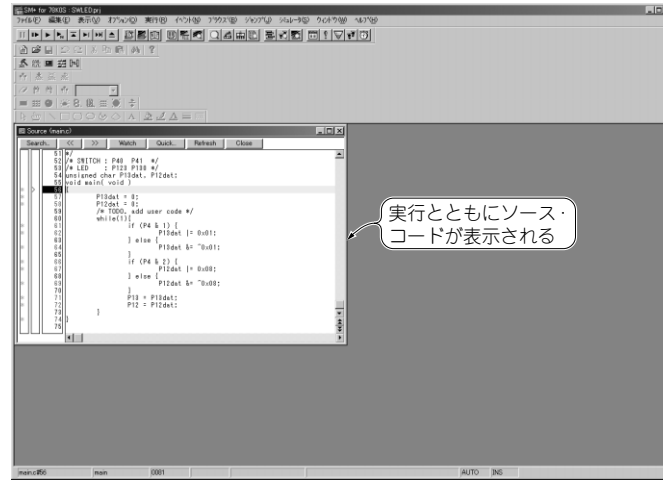

図6-1　システム・シミュレータSM+の起動画面

見本